

# 公開セミナー

2022年 11月 26日 土 10:40~12:10

常磐大学（H棟101号室）

テーマ

戦争の現実 —ウクライナ危機を事例として—

第二次世界大戦が終結して77年が過ぎた。戦後、日本は一貫して平和主義を標榜し、直接戦争に参加することはなかった。むしろ「人間の安全保障」の理念に基づいて地球規模課題に積極的に取り組むとともに、開発途上国の能力構築支援などを通して国際社会の平和と繁栄に貢献してきた。

一方で、世界から紛争の火種が絶えくるとはしない。戦後、地政学上最も画期的とされた冷戦の終焉後も、世界各地で民族・宗教・歴史などに根差す対立が顕在化し、地域・国内紛争が多発している。これら紛争の長期化は、グローバリゼーションの進展とともに当事国以外へも複雑かつ多大な影響を及ぼしており、世界秩序を揺るがす要因となっている。

当セミナーでは、2022年2月に始まったロシアのウクライナ侵攻がもたらした国際社会の危機を事例に、紛争が起こる原因・影響・解決の可能性等について深掘りする。

ウクライナの情勢は戦火から遠く離れた日本にも様々な影響をもたらしている。日本にとって戦争は“無縁のもの”、“過去のもの”ではないことを再認識する機会としたい。

スピーカー

元駐ウクライナ日本国特命全権大使

角 茂樹 氏

「ウクライナ危機—日本はどう関わりうるのか—」

常磐大学 留学履修生

ソフィア・マシチェンコ 氏

「私が見たウクライナ危機」

モデレーター

常磐大学 学長  
富田 敬子

受講方法

## 1 当日会場にて受講

事前にお電話、もしくはメールにて  
受講希望される旨をご連絡ください。

【お電話の場合】029-232-2652

【メールの場合】tissssp@tokiwa.ac.jp

## 2 ライブ配信を視聴する ※申込不要

〔視聴方法〕

1. 下記URL、もしくは右記QRより、本セミナーのウェブページにアクセス  
(常磐大学のホームページからもアクセスできます)

2. 記載されているリンクより配信ページへ移動



<https://www.tokiwa.ac.jp/info/221012/>

常磐大学

検索

主催・お問い合わせ

常磐大学 社会安全政策研究所

TEL 029-232-2652 / FAX 029-232-2861 / E-mail tissssp@tokiwa.ac.jp

